

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学（病院）では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	3DCTによる胃癌・大腸癌所属リンパ節の描出と術前転移診断精度の検討
研究機関名	金沢医科大学
研究責任者	金沢医科大学 一般・消化器外科 木南 伸一
研究期間	2017 年 5 月 ～ 2019 年 12 月
対象者	2017年6月1日～2019年12月31日までに、当院で手術を受けられる胃癌・大腸癌の方
当該研究の意義・目的	進行胃癌の標準治療は、外科的切除後に補助化学療法を追加するのが進行胃癌の標準治療ですが、術前補助化学療法(neoadjuvant chemotherapy)後に外科手術を行う方法が試みられています。その際に問題になるのは、術前診断の正確性です。そこで本研究では、胃癌・大腸癌の術前診断の精度向上を目指して、切除予定の胃癌・大腸癌のCTデータから3D画像を作成、リンパ節のサイズを計測し、現状のCTのリンパ節転移診断能の正確な評価を行います。
方法および研究で利用する試料・情報について	当院で手術する胃癌・大腸癌の患者様の術前検査の一環として行われたヘリカルCTのデータから3D構築し、リンパ節の位置と方向、さらに長径・短径を測定します。これを術中所見および切除標本と対比して、どのリンパ節が描出可能であったか、一個ごとに精密に検討します。さらに転移の有無を付き合わせて、術前転移診断が可能か否かを検証します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。当院での治療に伴い得られたX-CTデータ及び切除標本を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	ありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 一般・消化器外科 木南 伸一 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511（2211）内線（3127）

作成日： 2017 年 11 月 22 日